



『ダンデライオンチョコレート』(新泉社)より  
Photo: Eric Wolfinger

第38回国民文化祭  
第23回全国障害者芸術・文化祭  
いしかわ百万石文化祭2023  
金沢21世紀美術館特別展

## チョコレート 至高の名を与えられしもの

市民ギャラリーA  
2023年10月28日(土)～  
11月3日(金・祝)

展覧会名	金沢21世紀美術館特別展 チョコレート 至高の名を与えられしもの
会期	2023年10月28日(土)～11月3日(金・祝) 会期中無休
開場時間	10:00～18:00
会場	金沢21世紀美術館 市民ギャラリーA
料金	無料
主催	文化庁、厚生労働省、石川県、石川県教育委員会、金沢市、金沢市教育委員会、 いしかわ百万石文化祭2023実行委員会、いしかわ百万石文化祭2023金沢市実行委員会、 金沢21世紀美術館[公益財団法人金沢芸術創造財団]
協力	ショコラの街金沢実行委員会、株式会社前田商店、 ピュラトスジャパン株式会社、ダンデライオン・チョコレート・ジャパン株式会社
後援	北國新聞社(予定)
お問合せ	金沢21世紀美術館 TEL: 076-220-2800

本資料に関する  
お問合せ

金沢21世紀美術館 担当学芸員: 黒澤浩美、立松由美子  
広報担当: 石川聡子、落合博晃  
〒920-8509 金沢市広坂1-2-1  
TEL 076-220-2814 FAX 076-220-2802  
<https://www.kanazawa21.jp> E-mail: [press@kanazawa21.jp](mailto:press@kanazawa21.jp)



※本内容は2023年7月現在のものです。記載内容について変更になる場合があります。最新の情報は直接お問合せください。

**開催主旨**

茶の湯や和菓子を好むイメージが強い金沢ですが、チョコレートの消費においても全国トップクラスです。最近では、特色のあるチョコレート作りに取り組む若手のショコラティエが活躍するなど、金沢の食文化に厚みを加えつつあります。

展覧会「チョコレート 至高の名を与えられしもの」では、世界中の人々に愛されるチョコレートにまつわる工芸作品の展示や手話通訳付きのキュレーターによるギャラリーツアー等の開催を通して、チョコレートを愛する「ショコラの街・金沢」にてその魅力をお伝えします。

**展覧会概要**

ヨーロッパ植物学者カール・フォン・リンネ (Carolus Linnaeus) によって命名された「テオブロマ・カカオ」は、ギリシャ語で「神々の食べ物」を意味します。このカカオの原産地は中南米の高地、つまり紀元前グアテマラに栄えていたマヤ、そして現在のメキシコにあたるアステカに遡り、その価値は貨幣の地位に押し上げられるほどでした。その後、大航海時代の17世紀頃、カカオはスペインを介してヨーロッパにもたらされ、緩やかに宮廷から上流階級を中心に嗜好品あるいは滋養飲料として広まっていきました。カカオに砂糖、肉桂、ヴァニラなどを混ぜた「この上なきもの」(nec plus ultra) となった「チョコレート」は、上流階級から市民階級へと、また近代化に伴い大衆化して、今日まで世界中で嗜好品として愛されています。

本展覧会では、国内に残る稀観本や資料によってカカオの通った道を紹介し、人々がカカオを受容した歴史と文化を紐解きながら、チョコレートにまつわる現代美術作品や、チョコレートに見立てることを楽しむ工芸的作品などを紹介します。

また、チョコレートを素材に独自の技術で造形に取り組む、ステファン・ルルー氏の作品も金沢にて初公開します。多彩な種類でそれぞれの好みに合わせて選ぶことが出来るチョコレートが贈り物として重用され、贈る者・贈られる者双方に喜びをもたらしてくれます。「特別な何か」を渡す機会と現代の贈与のかたちをチョコレートを通して考えます。

黒澤浩美 (チーフ・キュレーター)

**参加アーティスト/  
デザイナー**

杉本博司、ヴィック・ムニース、中村卓夫、ステファン・ルルー、オットー・キュンツリ、ミリー・スティーヴンス、原嶋亮輔、八木夕菜、五月女晴佳、大村大悟、狩野佑真、御菓子丸、東京香堂

**展覧会の特徴****金沢の食文化となりつつあるチョコレートの歴史と文化を紐解く**

国内有数の菓子・チョコレートの資料を持つ前田重兵衛氏のコレクションから稀観本などを紹介し、世界中で親しまれるチョコレートの歴史を紐解きます。

**チョコレートを連想する作品や見立てた作品を展示**

チョコレートと聞いて、みなさんはどんな食感や記憶を思い起こすでしょうか。魅惑的で時に官能的な香りや色、口に含んだ時の滑らかさや舌の上で溶ける食感など、様々な記憶が呼び覚まされます。本展覧会では作品の素材やテーマに「チョコレートのな」要素を掛け合わせた作品や、チョコレートと「見立てる」ことが出来る工芸や美術作品を紹介します。

## 世界的なショコラティエの創造性溢れるチョコレート作品も出展

世界屈指の技術を持ち、チョコレートで工芸的な美を探求するフランス人ショコラティエのステファン・ルルー氏のチョコレートを展示します。10月29日(日)にはステファン氏をお招きし、作品の創造性を支える研究とその実践についてお話しいただくアーティスト・トークを開催する予定です。

※参加方法など詳細は9月30日(土) ウェブサイト公開予定。

## 手話通訳付きのキュレーターによるギャラリーツアーを開催

多様な人たちが展覧会を楽しめるよう、展示作品や見どころを本展キュレーターが手話通訳付きでご案内します。予約不要で気軽に参加できる15分間のギャラリーツアーです。

参加アーティスト  
デザイナー

### 杉本博司



杉本博司《ウッド・ボックス》2004  
ガラス、木 作家蔵  
©Hiroshi Sugimoto / Courtesy of Gallery Koyanagi

### ヴィック・ムニース



ヴィック・ムニース  
《ピクチャー・オブ・チョコレート：  
ダイバー（シスキンドにならって）》1997  
チバクローム・プリント H150×W119.8cm  
金沢21世紀美術館蔵  
©Vik Muniz / VAGA, New York & JASPAR, Tokyo, 2018

### 中村卓夫



中村卓夫《TATARA》1995  
陶土 H40.5×W45.5×D39cm  
金沢21世紀美術館蔵  
©Takuo Nakamura  
photo: SAIKI Taku

### ステファン・ルルー



5.【参考作品】ステファン・ルルー Stéphane Leroux《耐候性鋼》  
Corten チョコレート 作家蔵  
©Stéphane Leroux photo: Tom Swalens  
6.【参考作品】ステファン・ルルー Stéphane Leroux《行列》  
Matrices チョコレート 作家蔵  
©Stéphane Leroux photo: Tom Swalens

オットー・キュンツリ



7

オットー・キュンツリ《スイス・ゴールド》1983  
厚紙、アクリルガラス、スチール  
H24×W8.5×D4.3cm  
京都国立近代美術館蔵  
©photo: Otto Künzli, VG Bild-Kunst

ミリー・スティーヴンス



8

ミリー・スティーヴンス《カードナーズ・チョコレートの箱》1981  
絹・手とミンシによる刺繍 35×27.5cm  
京都国立近代美術館所蔵

原嶋亮輔



9

[参考作品]  
原嶋亮輔《A Day in the Harvest》2021  
銅、日本の民具、色ガラス（黄）  
SOMEWHERE TOKYO蔵  
©Ryosuke Harashima photo:Daisuke Yoshio

八木夕菜



10

八木夕菜《STILL CHOCO\_01》2023  
紙にプリント 72×48cm  
作家蔵  
©Yuna Yagi

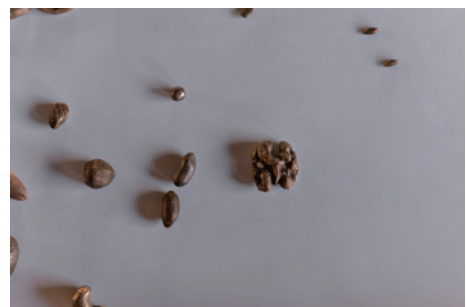
五月女晴佳



11

五月女晴佳《melt》2021  
漆、麻布  
W32×D10×H34cm  
作家蔵  
©Haruka Sotome  
photo: Kichiro Okamura

大村大悟



12

[参考作品]  
大村大悟《実と種》2018  
ブロンズ、木の実  
作家蔵  
©Daigo Ohmura

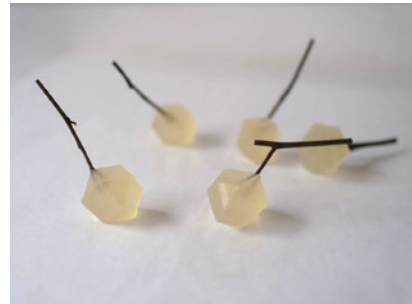
狩野佑真



13

狩野佑真《Rust Harvest》2022  
 アクリル樹脂、スチール、銅、錆  
 H122.5×W83.5×T4.5cm  
 作家蔵  
 “Toyama Prefectural Museum of Art and Design  
 5th Anniversary: Design Scope”  
 ©Studio Xxingham (Licenced under CC-BY-NC-ND 4.0)  
 ©Yuma Kano

御菓子丸



14

【参考作品】  
 御菓子丸《鉢物の実》  
 果実、寒天、クロモジ、甜菜糖  
 ©OKASHIMARU

東京香堂



15

【参考作品】  
 東京香堂《森のささやき》2014  
 インド産白檀、ラズベリー、丁子、シスタス、パチヨリ、ベチパー、榎粉ほか  
 作家蔵  
 ©TOKYO KODO photo: Naoki Miyashita

## イベント

## アーティスト・トーク

講師：フランス人ショコラティエ ステファン・ルルー（予定）

日時：2023年10月29日（日）13:00～15:00

場所：金沢21世紀美術館 シアター 21

※参加方法など詳細は9月30日（土）ウェブサイト公開予定。

## 手話通訳付きのキュレーターによるギャラリートัวร์

本展キュレーターによる、気軽に参加できる15分間の手話通訳付きギャラリートัวร์を実施します。

会場：市民ギャラリー A 展示室内

申込み：予約不要

受付：当日市民ギャラリー A 入口前

※日時が決まりましたら、ウェブサイトでお知らせします。

いしかわ  
百万石文化祭  
について

いしかわ百万石文化祭2023は、「第38回国民文化祭」「第23回全国障害者芸術・文化祭」の統一名称で、各種文化について全国規模で発表、共演し、障害のある人もない人も共に参加して交流の輪を広げていく文化祭です。

44日間の期間中に石川ならではの文化資源を活用したイベントや文化団体による27の全国大会など、県内全市町で約150の多彩な文化イベントが開催されます。

石川県での国民文化祭の開催は、平成4年以来2回目となり、全国障害者芸術・文化祭は初開催となります。

今大会では、県民総参加により前回大会から31年分の地域に育まれた文化を未来にアップデートして全国に発信します。



文化絢爛 ぶんかけんらん

第38回国民文化祭 第23回全国障害者芸術・文化祭

いしかわ百万石文化祭2023

令和5年10月14日（土）～11月26日（日）

## 広報用画像

画像1～15を広報用にご提供いたします。ご希望の方は下記をお読みの上、当館プレスルームの画像提供ページからお申し込みください。

[https://www.kanazawa21.jp/form/press\\_image/](https://www.kanazawa21.jp/form/press_image/)

[使用条件]

※広報用画像の掲載には各画像のキャプションとクレジットの明記が必要です。

※トリミングはご遠慮ください。作品が切れたりキャプション等の文字が画像にかぶったりしないよう、レイアウトにご配慮ください。

※情報確認のため、お手数ですが校正紙を広報課へお送りください。

※アーカイヴのため、後日、掲載誌（紙）、URL、番組収録のDVD、CDなどをお送りください。以上、ご理解・ご協力のほど、何とぞよろしくお願いいたします。